
星である事

来々

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

星である事

【著者名】

来々

N1753B

【あらすじ】

僕は父が大好きだった。優しくて、強くて、格好良かった。そんな父は、星になつて僕を見守ってくれている。

孝幸、お前将来何になりたいんだ？

「僕はね、僕は星を見たいんだ。すうごくおつきい望遠鏡で、沢山の星をずっと見てみたい。」

ハツハツハ、そうか、孝幸は天文学者になりたいのか

「天文学者？」

そう、天文学者。天文学者って言つのはな、望遠鏡で、目じや見えないような遠くにある星でも見えるんだ。

「そりなんだ。じゃあ僕にぴったりだね。」

そうだな、立派になれよ孝幸

それからしばらく、僕と父は黙つて窓から星を見ていた。時より、父は僕の頭を撫でてくれた。

父のいる病室から見えた星は、家から見たよりもずっと綺麗で、ずっと優しくて……。

やがて、お別れの時が来た。

父が突然血を吐いたのだ。僕はすぐにナースコールを押して看護師の人を呼んだ。

看護師は来るのが遅くてじれったかった。何をして良いかわからず、ずっと父の手を握っていた。

すると父は、最後の力を振り絞つて、僕の頭を撫でた。

そして、最後の言葉を語った。

孝幸、父さん、遠くに、行くんだ

「やだよ……父さん……僕は独りじゃやだ……」

父さんが行くのは、あの空の上なんだ。孝幸、父さんは遠くの星になる。もし、孝幸が本当に天文学者になれたら、そのときは、父さんを見つけてくれ。いいか孝幸、父さんとの約束だ。父さんは星になつて、孝幸をずっと見守つているからな

「……うん、わかつた。約束するよ。だからまだ死なないで……！」

孝幸、お前は良い子供だ。「めんなあ、母さんいなくて寂しかつただろう？

「そんな事無いよ……父さんがいたから……だから、僕を置いて逝かないで……！」

ハツ、嬉しいなあ。でもゴメンな、父さんはもう疲れたんだ。……独りにして、ゴメン、な……孝幸、立派な天文学者になれよ

「……父さん、父さん……！」

月と星達の優しい光に照らされながら、父は逝つた。

こうして、唯一の肉親である父を失った僕は、施設に入る事になった。

僕は猛勉強した。父さんを見つけられるような、立派な天文学者になるために。

そして……

「幸子、来て〜」

「なんですか、孝幸さん。ここには孝幸さん以外入っては駄目なんでしょう？」

「いいから来なさい。やつと、見付けたんだ。」

「もう、相変わらずですね。結婚して何年たつても、孝幸さんは昔

のまま。」

「ほり、幸子。ここを覗いてご覧。」

「…………まあ。なんて優しい光の星なのかしら。見た事無い星ね。」

「父さんなんだ。子供の頃約束した、父さん。」

僕は年甲斐にもなく涙した。

「…………やつと見付けたよ、父さん。…………久しづり。」

ニュース速報。

日本人天文学者、高野孝幸氏が発見した新惑星の名前が、高野氏の希望どおりに決定。新惑星の名前は、

「ファーザー」

(後書き)

皆様お久しぶりです。来々です。なんか何も頭に浮かばなくて、新作を書くのがこんなに遅くなりました。相変わらず下手な文章ですが、これからもよろしくお願ひします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1753b/>

星である事

2010年10月28日02時40分発行